

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症は、令和4年度においても勢いは衰えることなく、感染者数は拡大を続け、加えて燃料価格は、国の価格抑制のための元売りへの支援があったものの高止まりで推移しており、バス事業は依然として厳しい状況に置かれていた。収入ベースで見ると対前年では幾分増加したものの、コロナ前と比較すると、乗合バス事業が86%、高速バス事業が43%、貸切バス事業が61%と回復には程遠い状況と言える。また、運転者数はバス事業全体でコロナ以降20%減となり、運転者不足が一層深刻化した。

岡山県バス協会では、新型コロナウイルス及び燃料価格高騰への対応として、国・県・市町村等に対して支援や需要喚起に向けた取組みの支援要望を積極的に行うとともに、コロナ禍における規制要件の緩和措置などの情報提供やバス事業への影響調査などに対応した。併せて、岡山県の運輸事業振興助成補助金を活用して、コロナ禍における利用者の安全安心の確保に直結した取組みを推進した。また、行政の協力や自治体の支援を受け、乗合バス事業におけるバス停留所の整備やバス利用者へのサービスの向上、定時性確保に向けた渋滞対策をはじめとしたバス利用者の利便性向上に努めた。

貸切バス事業では、旅行需要の回復が一向に進まない状況においても、安全規制強化に対応した安全コストを確保するため、引き続き貸切バス適正化センターへの負担金の助成による会員負担軽減などを行ってきた。

安全輸送の確保については、事故防止対策として、国土交通省が新たに策定した「事業用自動車総合安全プラン2025」及び日本バス協会が策定した「バス事業の総合安全プラン2025」に基づく施策を中心に積極的に取組み、バス事業の信頼回復と安全安心なバス事業の構築に努めた。

これらの取組みの他、令和4年度事業計画に基づき、安全で安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう行政・関係機関と連携して、様々な取組みを実施した。

1. 年度会員数・その他（令和5年4月1日現在）

①会員数

普通会員 71者（期間中増減 1者減）

②車両数

一般乗合 627両（期間中 6両減）

一般貸切 639両（期間中 26両減）

2. 主な会議

(1) 通常会員総会	1回
(2) 理事会（役員会）	3回
(3) 監事会	1回
(4) 各種委員会等	
①財務委員会	1回
②運営委員会	3回
③貸切委員会	3回
④事故防止対策委員会	2回
⑤運輸事業振興助成補助金運用委員会	1回
⑥バスの日記念事業検討部会	1回

〈概要〉

(1) 第47回通常会員総会

令和4年6月14日（火） 岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和3年度事業報告(案)及び令和3年度会計報告諸表(案)について
- ② その他
・令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算について（報告）

(2) 理事会（役員会）

第1回理事会 令和4年5月16日（月）岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 総会に付議する議案について

【第1号議案】

令和3年度事業報告(案)及び令和3年度会計報告諸表（案）について

- ② 通常会員総会（6月14日開催）の招集について
- ③ 公益社団法人岡山県バス協会就業規則の改正について
- ④ その他

第2回理事会 令和4年11月17日(木)岡山プラザホテル

【議題】

- ① 令和4年度上期(4月～9月)事業報告について
- ② 賞与に係る社会保険料未納について(平成19年度～27年度)
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策等に係る支援要望について
- ④ 上期におけるバス事業の状況について
- ⑤ その他

第3回理事会 令和5年3月20日(月)岡山プラザホテル

【議題】

- ① 令和5年度事業計画(案)について
- ② 令和5年度収支予算(案)について
- ③ 令和5年度資金調達及び設備投資の見込について
- ④ 社会保険料未納問題について
- ⑤ 次期役員について
- ⑥ その他

(3) 監事会(監事監査)

令和4年5月12日(木)岡山県バス協会 会議室

【監査内容】

- ・令和3年度職務の執行状況について
- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度収支決算(計算書類及びその附属明細書等)について

(4) 委員会

① 財務委員会

令和4年6月8日(水)岡山県バス協会 会議室

- ・乗合バス要素別原価報告書集計(岡山県分)

② 運営委員会

第1回 令和4年9月28日(水)岡山県バス協会 会議室

- ・運賃制度の変更について
- ・園児等輸送にかかる注意喚起について
- ・令和5年度税制改正要望(固定資産税減免要望)について
- ・視覚障害者団体からの申し入れについて
- ・パーソントリップ調査への協力依頼について
- ・その他

第2回 令和5年1月18日(水)岡山県バス協会 会議室

- ・地域間幹線系統補助(国庫・単県)と地域公共交通計画の連動化につ

いて

- ・インボイス制度への対応について
- ・赤磐市における高齢者・障害者割引について
- ・令和5年度税制改正要望（固定資産税減免要望）について
- ・視覚障害者団体からの申し入れについて
- ・その他

第3回 令和5年2月14日（火）岡山県バス協会 会議室

- ・岡山駅東口9番乗場の標柱使用について
- ・運輸事業振興助成補助金の県予算要求額について
- ・その他

③ 貸切委員会

第1回 令和4年7月1日（金）岡山県バス協会 会議室

- ・貸切バスに対する支援等について
- ・貸切バスの状況等について
- ・改善基準告示改正説明会について
- ・持出委員会について
- ・その他

第2回 令和4年10月13日（木）岡山県バス協会 会議室

- ・日本バス協会貸切小委員会への対応について
- ・運転者不足対策について
- ・持出委員会について
- ・その他

第3回 令和5年1月25日（水）～26日（木）松山市

- ・「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（第4版）」及び「バスにおける感染予防対策ガイドライン（第7版）」について
- ・貸切バスの安全を確保するための適切な運賃契約について
- ・意見・情報交換
- ・その他

④ 事故防止対策委員会

第1回 令和4年9月1日（木）岡山県バス協会 会議室

- ・令和4年秋の全国交通安全運動の実施について
- ・令和4年秋の交通安全県民運動について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会報告について
- ・事故報告について
- ・2023年からの年間スローガンと月間努力目標について

- ・交差点立哨調査結果について
- ・令和4年度『バスの環境対策強化期間』の実施について
- ・添乗調査について
- ・その他

第2回 令和4年12月1日（木）岡山県バス協会 会議室

- ・令和4年度年末・年始の輸送等に関する安全総点検の実施について
- ・年末年始の交通事故防止県民運動について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・バス添乗調査について
- ・事故報告について
- ・その他

「前照灯の終日点灯」の実施について

年末年始輸送安全総点検ポスターについて

⑤ 運輸事業振興助成補助金運用委員会

令和4年7月27日（水）岡山県バス協会 会議室

- ・令和4年度岡山県運輸事業振興助成補助金の運用について
- ・その他

⑥ バスの日記念事業検討部会

令和4年7月26日（火）岡山県バス協会 会議室

- ・バスの日の記念事業について
- ・その他

3. 業務の概要

(1) バス輸送改善事業

バス輸送の改善を図るため、県内各所のバス停留所整備を行うとともに、ノンステップバス等の導入促進や利用者への運行情報提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として除菌効果のあるウェットティッシュを作製し、再開が見込まれるイベント等に対応するなど、輸送環境の改善及び輸送サービス改善等のため主に以下の事業を実施した。

- ア. 岡山駅東口バスターミナルの運行状況をデジタルサイネージで表示する『えきバス時刻表』（岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置）の管理運営を行い、遅延情報等も含めた運行情報の提供により、利用者の利便向上を図った。（交付金事業）
- イ. 岡山駅西口バスターミナルを発着する、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用

者サービスの向上を図るため、バスターミナル及び待合所の適切な管理・運営を行った。

ウ. バス停整備等によりバス利用環境の向上に努めた。(交付金事業)

- ・岡山駅東口バスのりば雨漏り修繕 2カ所
- ・バス停上屋修繕・撤去 3カ所
- ・岡山駅東口バスのりばサイン改修 1カ所
- ・景観を損ねていた不要構造物撤去 1カ所
- ・県内バス停標柱新設・補修 17カ所

エ. 岡山県バス協会ホームページの新型コロナウイルス対策専用ページに感染拡大防止の取り組みやバス関係通達を掲載し、利用者及び会員各社への情報提供に努めた。

オ. 感染拡大防止のため啓発ポスター掲示により、バス車内での飲食を控えることやマスク着用の徹底による感染防止対策を利用者に求めた。

カ. バスの日記念広報事業として乗合バス前面幕と胸章リボンを、また、利用促進グッズとしてオリジナル除菌ウェットティッシュを作製し、バス利用促進及び感染防止対策に努めた。(交付金事業)

- ・乗合バス前面幕 135枚
- ・サービス向上運動胸章リボン 310個
- ・オリジナル除菌ウェットティッシュ 20,000個

(2) 安全輸送体制の確保

国の定めた「事業用自動車総合安全プラン2025」及び日本バス協会で策定した「バス事業の総合安全プラン2025」に基づき主に次の事業を実施した。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員会を中心に、安全運行、事故防止対策等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。(交付金事業)

- ・山陽新聞朝刊への交通安全啓発 春・秋 2回
- ・交通安全のポスターの配付 880枚
- ・交通安全ポケットティッシュの配布 14,200個

イ. バス事故の3割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を7月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆとり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行うとともに貸切バス利用者に対しシートベルトの着用を促す取り組みを行った。

また、「バス優先発車」啓発のためのバス後部ステッカーを作製し、一般ドライバーに路線バスの円滑な運行に協力を求めた。(交付金事業)

チラシ配布依頼：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、J A F 岡山支部

・車内事故防止ポスター（中吊り）	505枚
・車内事故防止ポスター（待合等掲示用）	31枚
・「バス優先発車」車両後部ステッカー	1,200枚
・シートベルト着用啓発紙コップ（貸切バス利用者向け）	250,000個

ウ. 運行管理者、運転者研修事業（交付金事業）

運行管理業務の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種講習等受講に助成を行い事故防止に努めた。

・運輸安全マネジメント講習	58名
・運行管理者等一般講習	329名
・運行管理者等基礎講習	39名
・運行管理者試験事前講習	2回
・バスドライバー研修	27人
・運転者適性診断	655名

エ. 健康起因事故防止のため脳ドック・心臓ドック及びS A S簡易検査の助成を行った。(交付金事業)

・脳ドック・心臓ドック助成	45名
・S A S簡易検査助成	149名

オ. その他安全対策を図るための教材配付等（交付金事業）

・安全運転手帳（2023年安全運転のしおり）	2,600冊
・運転記録証明交付	1,299名
・整備管理者選任後研修資料	100冊
・バス安全運転教本	330冊
・バス事業者のための初任運転者に対する指導・教育テキスト	390冊
・中国バス協会の事故防止対策の取り組み（交付金事業）	

年間スローガン懸垂幕（95本）、ミニ幟（95本）、月間努力目標ポスター（12枚×100組）、安全運転則（2,600組）、

カ. 路線バスの添乗調査（交付金事業）

乗客の安全性の向上、車内事故防止対策の強化及びサービス体制の促進を図るため、路線バスの運転状況を添乗により調査し、運転者指導を行った。

乗合バス添乗調査	10事業者 84回
----------	-----------

キ. 交差点立哨調査

岡山市内の主要交差点（柳川、郵便局前、相生橋西詰）において、路線バスの右左折時における状況を確認し、安全確保に努めた。 5事業者×3箇所
ク. 貸切バス事業の適正化を図るため、道路運送法の一部を改正する法律に基づき設立された『一般貸切旅客自動車運送適正化機関』へ納付する貸切バス事業者の負担金の一部を助成。（交付金事業） 68事業者

ケ. 日本バス協会において、貸切バス事業の安全性に対する取り組み状況について評価・認定し、利用者や旅行業者などに情報提供を行う「貸切バス事業者安全性評価認定制度」について、次の取り組みを行った。

なお、「貸切バス事業者安全性評価認定制度説明会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年に引き続き中止となった。

・申請事業者の訪問審査

19事業者

（3）環境対策の推進

ア. 安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となる不正改造車を排除するため、強化月間(6月中)において、排除のための啓発、情報収集、従業員に対する指導、自主点検の実施を行い、積極的に排除に努めた。

イ. 「バスの日記念事業」において、アイドリングストップ運動の推進を図るなどアイドリングストップを推進した。

（4）バス活性化事業の推進

ア. 9月20日「バスの日」を中心にサービス向上運動を展開、優良乗務員を行うなど、安全で安心なバス、人と環境にやさしいバス、便利で快適なバスとして認識してもらうよう努めた。

イ. 「岡山県道路交通渋滞対策会議」「岡山県道路利用者会議」などの会議を通じて、国、岡山県、警察本部、岡山市などに渋滞箇所の緩和対策について積極的に要請を行った。

ウ. 「岡山県生活交通対策地域協議会」「岡山市バリアフリー推進協議会」などを通じ、バス輸送を円滑に推進するため意見を述べ、検討し、公共交通を活かした都市づくりの構築に協力した。

エ. 「倉敷市地域公共交通会議」において公共交通網形成計画に基づく事業の推進に積極的に努めた。

オ. 「赤磐市地域公共交通会議」に委員として参画し、地域公共交通網形成計画に基づく施策の推進に積極的に提言を行った。

カ. 利用促進グッズ

バス利用促進として、バス事業者が参画するイベント等においてバス利用促進グッズを配布し、バス利用の啓発を行った。

(5) 運輸事業振興助成補助金の適切な運用等

ア. 役員会、補助金運用委員会で協議し県の認可を得て次の事業を実施した。

事業の名称	事業金額
バス停留所整備事業	1,907,270円
輸送サービス改善事業	2,754,600円
安全運行対策事業	15,069,345円
維持運営管理事業	1,498,785円
合計	21,230,000円

イ. 日本バス協会の助成制度を次のとおり活用した。

事業名称	数量	金額	備考
人と環境にやさしいバス普及事業	3両	900,000円	ノンステップバス
〃	1両	100,000円	衝突被害軽減ブレーキ装備車
大型二種免許取得養成助成事業	8名	400,000円	二種免許取得
地方路線バス及び貸切バス助成事業	5社	250,000円	地方路線バス 貸切バス助成
利子補給事業	1社	30,269円	利子補給額
合計		1,680,269円	

(6) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策、渋滞対策等を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などのほか、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策に関し、関係機関に次のような要望を行った。

1. 令和4年4月28日、岡山県知事あて「令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等による支援の要望について」を提出し、コロナ禍に加え燃料高騰により深刻な打撃を受けている乗合バス事業、貸切バス事業の存続に向け、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用によるバス事業への支援を要望した。
2. 令和4年4月28日、交通関係4団体（中国地方鉄道協会、岡山県バス

協会、岡山県タクシー協会、岡山県旅客船協会) 連名で岡山県知事あてに「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等による支援の要望」を提出し、地域公共交通ネットワーク維持のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用による交通事業への支援を要望した。

3. 令和4年5月16日、岡山市長あて「岡山駅前広場への路面電車乗入整備事業におけるバスゾーンの早期整備について(要望)」を提出し、整備費用の増により整備が見送られたバスゾーンについて、利用者の利便性向上と快適なバス利用環境提供のため早期整備を要望した。
4. 令和4年6月2日、岡山県内27市町村長あて、「令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等による支援の要望について」を提出し、コロナ禍に加え燃料高騰により深刻な打撃を受けている乗合バス事業、貸切バス事業の存続に向け、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用によるバス事業への支援を要望した。
5. 令和4年9月2日、岡山県選出の与党国会議員に対し、日本バス協会会長連名で固定資産税軽減措置の要望を行った。
6. 令和4年10月22日、公明党政策要望懇談会において、公明党岡山県本部に「予算・政策要望書」を提出し、次の事項について要望した。

【予算編成等に関する要望】

新型コロナウイルス感染症対策、燃料高騰への対応、乗合バス路線の維持、運輸事業振興助成交付金制度の継続及び拡充、貸切バスの輸送に関する予算の拡充、バス輸送サービスの改善、バス事業の環境対策の推進、バス運転者の確保対策等の推進

【税制に関する要望】

固定資産税の減免、燃料価格高騰への対応、新型コロナウイルス感染症による影響の軽減、自動車関係諸税の非課税措置等適用期限の延長及び拡充、自動車関係諸税の抜本的見直し、外形標準課税の適用拡大によるバス事業者の負担増への対応

7. 令和4年10月27日、交通関係4団体連名で岡山県知事あて「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の活用による交通事業者へのご支援について(要望)」を提出し、安全安心な移動を確保し安定した社会を維持するため、交通事業者への支援の検討を求めた。
8. 令和4年11月15日、自由民主党岡山県支部連合会岡山県議団の「令和5年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会」において、陳情書を提出。要望事項は前記6. 記載のとおり。

9. 令和4年12月2日、関係バス事業者と連名で岡山市長あて「岡山駅東口駅前広場へのバスの新規乗り入れに関わる意見聴取とおかやま都市交通戦略会議等の開催要請」を提出し、岡山駅東口バスターミナルにおける方面別協議の再開を求めた。
10. 令和4年12月15日、中国運輸局自動車交通部長と連名で岡山県教育庁義務教育課及び岡山県総務部総務学事課あて「輸送の安全を確保するための貸切バスの選定・利用について」を提出し、貸切バス運賃の適正収受に理解を求めるとともに、県内市町村教育委員会及び学校等への周知を求めた。
11. 令和5年1月30日、関係バス事業者と連名で岡山市長あて「岡山市地域公共交通利便増進実施計画策定に関する協議の再開について」を提出し、バス事業を取り巻く情勢の変化を踏まえて協議会の再開を要請した。

(7) その他

- ア. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政等の、啓発・広報等への協力
- ・不正軽油対策ポスター
 - ・クールチョイス
 - ・踏切事故防止キャンペーン
 - ・愛の血液助け合い運動
 - ・いじめ防止啓発ポスター
 - ・不正ガソリン110番に係るチラシ
 - ・不正改造車を排除する運動
 - ・ベビーカーキャンペーン
 - ・高速道路等における各種規制等
 - ・山陽女子ロードレース
 - ・ウォームビズ県民運動
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
 - ・高齢者障害者等用施設等の適正な利用の推進に向けたポスター
 - ・選挙啓発用ポスター
 - ・予防救急ポスター
 - ・冬期交通安全啓発チラシ
 - ・おかやま桃太郎まつり
 - ・おかやまマラソン2022
 - ・子ども用車いすの普及・啓発に関するポスター

- ・公共交通利用促進PRポスター
- イ. バス関係法令・通達等の周知
- ウ. 各種会議への参加
- エ. 統計資料等の作成配布
- オ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力
- カ. 新型コロナウイルス感染症についての情報収集と各種支援制度・助成制度等についての積極的な情報提供

※事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。